

長期にわたる休園、分散登園。子ども達が育つ大切な時期を幼稚園で過ごす時間を奪ってしまったことが申し訳ない気持ちでいっぱい期間でありました。

ご家族のご協力、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。自粛期間中の「巣籠り生活」・・・「コロナ禍の中辛いこと不安な事がたくさんあったと思われませんが、その中でも楽しみを見つけ家族の健康を幸せに感じ、前向きな考え方に、気持ちを切り替え過ごしていたご家族が多かったように感じます。

そして全園児の登園の日は、可愛い子ども達に会える喜びと、まだまだ気が抜けない感染予防対策の緊張が入り混じった心境でありました。

新園舎工事に伴って、グラウンド、駐車場が使えない状況で始まった令和2年度ですが、心配をよそに畑の横を通って幼稚園に向かってくる子どもたちは、足取りも軽やかに元気に登園しています。畑の生長を楽しみながら歩く親子の光景もとても微笑ましいものです。

そして、子どもたちが「今日は、何をして遊ぶよ・・・。」と自ら遊びを選び、主体的に遊べる環境を室内、戸外も準備しています。「自分で行動できる楽しさ」「試行錯誤をする事の面白さ」その中には「沢山の発見」や幼児期にとって大切な、「友だちと共感できる喜び」「もたくさん感じる事が出来ること」でしょう。その中で子どもたちのつぶやきは、とても可愛くかけがえのない言葉です。そんなつぶやきを毎日楽しみにしながら残りの一学期を過ごして参ります。

小畑 圭子

乳幼児の電子メディアについて考えてみましょう

最近とみに気になることがあります・・・。幼稚園生活の中で子ども同士の会話の中でYouTubeの話題。ゲームの話題。オンラインゲームのキャラクターになりきって行動している姿を目にする場面が多々あることです（ご家庭での長時間の電子機器の視聴、過激なキャラクターの画像を目にするなど心あたりはありませんか？）

もちろん現代のメディア、IT文化は、私たちの生活、社会を確実に便利にしています・・・。

テレビ、DVD、ゲーム、スマホは乳児の時から身近にある環境で育った子どもたちです。非現実的映像がいつも頭の中にあることで現実世界を離れての時間が行き過ぎてしまうことは、様々な障害がでてきます。幼い時からの過剰な映像メディアを見続けたり、長時間のネットやゲームは「脳の発達の障害（灰白質の破壊）」だけではなく「視覚障害（ブルーライトによる網膜のダメージ）」などの影響を引き起こします。また、「自分の気持ちを伝える言葉」「他の人の気持ちを感じる力」「人間として生きるために必要な力が育たない」とも言われています。子どもの場合、欲求をコントロールする機能が未熟なので「もっとやりたい!」「もっと見たい!」という欲求のコントロールが難しいそうです。すでに、このような記事は沢山取り上げられ（耳が痛い保護者の方もいると思います）乳児への「スマホで子守り」「小中高生のネット依存症」は、深刻な問題でもあります。大切な幼児期です。一緒に何かを調べてみることに活用したり、絵本や自然に触れたり、戸外あそびを楽しんだり、料理や製作、アナログゲームを家族で楽しむ時間を作ったり・・・。今一度ネットやゲームなどのルールをご家庭で考えてみる機会を作って頂けたらと思っています。（長文になってしまいました・・・。すみません(一一)）

～認定こども園新園舎～VOL 2



「ときわみなみのこどもえん」



新園舎の工事が着々と進んでおります。予定では、7月の末「上棟式」を迎える時期となりました。現在は、2階まで足場が組まれ、外壁の建て込みが行われました。そして来年解体となる現園舎をしみじみと眺めています。ドアの取っ手の色やら天井の素材やら新しい発見がたくさん（笑）今更ですが・・・。(^^幼稚園にいらした時、どうぞ歴史ある園舎をしみじみと眺めてみて欲しいな・・・。と思います。

